

令和2年度 鳴門市通学路交通安全プログラムに基づく

合同点検対策箇所図（大麻中学校）

※対策状況については R3,1,31 現在



大麻中学校

文

②正門を出てすぐ西側の通学路であるが、幅が非常に狭いため危険性が高い。また、ガードレールがなく、すぐ隣に田んぼがあるため、過去には本校生徒が田んぼに落ちることもあり危険である。
〈対策内容〉
・オレンジポールを増設するとともに、反射器を設置。 ☆完了
・グリーンライン敷設を検討する。 ☆予定



①中学校付近のT字路であり、非常に見通しが悪い。車もスピードを出して通過するため、本校生徒が過去に事故に遭うこともあり危険である。
〈対策内容〉
・ストップマットを敷設する。 ☆完了
・この地点での左側通行の徹底など生徒への交通安全指導を継続する。 ☆継続



③大きな道路で見通しは良いが、用水路にガードレールがないところがあり、過去に本校生徒が落ちたこともあり、危険である。
〈対策内容〉
・生徒への交通安全指導を継続する。 ☆継続
・市道認定道路でないため、柵等の設置ができない。 ☆現状



④通行する車のスピードが出ている。トラックや作業車両の出入りが頻繁で危険。
〈対策内容〉
・舗装修繕を行うとともに、指導停止線を敷設する。 ☆予定

